

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平成30年3月期第1四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。
株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

① 平成30年3月期第1四半期 業績ご報告

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復に伴う企業収益の改善、原油価格上昇に伴うガソリンや灯油の大幅上昇を主因とした消費者物価の上昇など、緩やかな回復基調が続いております。また、雇用情勢も着実な改善を続け有効求人倍率が上昇を続けるなど、雇用所得環境の改善を背景にした個人消費は緩やかに持ち直しております。

当社グループの属する業界は、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。特に当社独自素材であるローズヒップ及びサラシアの機能性素材の販売については前年同四半期と比べ大幅な増収となりました。一方「ヘルスイド®シリーズ」及びフレーバーカプセルの受託については前年同四半期と比べ減収となり、その結果、売上高は2,682百万円と前年同四半期と比べ15百万円の減収となりました。

利益面においては、効率的なプロモーション活動及びコストダウン諸施策による原価率の低減により営業利益は215百万円と前年同四半期と比べ138百万円の増益となり、また営業外損益を加えた経常利益は214百万円と前年同四半期と比べ132百万円の増益となりました。さらに投資有価証券評価損を含む30百万円の特別損失を加えた税金等調整前四半期純利益は183百万円と前年同四半期と比べ101百万円の増益となり、法人税、住民税及び事業所税並びに法人税等調整額を加えた親会社株主に帰属する四半期純利益は147百万円と前年同四半期と比べ105百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、機能性表示食品「ヘルスイド®シリーズ」が前年同四半期と比べ減収となりましたが、機能性素材の販売強化により、ヘルスケア事業の売上高は2,068百万円と前年同四半期と比べ228百万円の増収となりました。

損益面では、前期末に回転率の悪い商品を評価減した事や、効率的なプロモーション活動等により、セグメント利益は243百万円と前年同四半期と比べ354百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品カプセルやその他の受託については前年同四半期並みに推移しましたが、フレーバーカプセルの受託の落ち込みにより、カプセル受託事業の売上高は604百万円と前年同四半期と比べ249百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めましたが、セグメント損失は18百万円と前年同四半期と比べ196百万円の減益となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は8百万円と前年同四半期と比べ5百万円の増収となりました。

損益面では、創業事業への費用支出により、セグメント損失は9百万円と前年同四半期と比べ19百万円の減益となりました。

● 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,682	△0.6	215	182.0	214	161.0	147	252.1
29年3月期第1四半期	2,697	16.2	76	211.1	82	213.7	41	186.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 161百万円(－%) 29年3月期第1四半期 △79百万円(－%)

(平成29年8月9日公表)

● 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	5,500	3.7	60	△49.0	60	△50.3	50	△40.7
通期	12,000	9.4	500	17.1	500	12.8	400	66.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

～テーマは「THINK over “Drug for DDS”」～

② 「第33回日本DDS学会学術集会」に出展

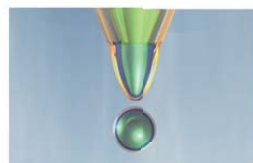
当社は、2017年7月6日(木)から7月7日(金)まで京都市勧業館みやこめっせ(京都市左京区)で開催された「第33回日本DDS学会学術集会」に企業ブースを出展しました。DDS(ドラッグデリバリーシステム)は近年、薬治療の技術としてだけでなく、

先端治療、診断、予防、といった医療の幅広い分野における研究開発の基盤技術と考えられています。当社は、シームレスカプセルのパイオニアとして技術の核心と最新情報を発信し、さらなる事業拡大を目指しています。

森下仁丹の出展内容

当社の「シームレスカプセル」は、粉末から液体、生きた微生物まで包むことができ、さらに皮膜には耐酸性、耐熱性、半透膜性など様々な機能を持たせることが可能です。医薬品や健康食品への展開だけでなく、産業用分野などへの応用にも注力しています。

出展ブースではご来場された業界の皆さまに、独自の多層化・腸溶性・大腸崩壊性カプセルなどに関する最新情報や、DDS(ドラッグデリバリーシステム)技術をご紹介します。



■シームレスカプセルのイメージ

③ 《第17回日本抗加齢医学会総会にて》モーニングセミナー共催・ブース出展

株式会社メタジェン・森下仁丹株式会社共催モーニングセミナー
当社社長 駒村純一が「機能性表示食品と*抗加齢医学」について講演 ほか

当社は、2017年6月2日(金)から、6月4日(日)まで東京国際フォーラム(東京都千代田区)にて開催された「第17回日本抗加齢医学会総会」にて、モーニングセミナー共催やブース出展を行いました。

今回の学会では、「腸内フローラ最前線～腸内デザインであなたの人生が変わる!」と題して、座長に太田博明先生(国際医療福祉大学臨床医学研究センター)をお迎えし、株式会社メタジェンと当社の共催でモーニングセミナーを実施しました。また、当社社長の駒村純一が、「機能性表示食品を抗加齢医学に活かす!」と題するシンポジウムの座長を務めました。また、ポスター発表や、ブースにて機能性表示食品の展示を行いました。



■日本抗加齢医学会総会の様子

*抗加齢医学(アンチエイジング医学)とは、加齢という生物学的プロセスに介入を行い、加齢に伴う動脈硬化や、がんのような加齢関連疾患の発症確率を下げ、健康長寿をめざす医学である。

〈“すべては子どものために”がテーマ〉

④ ランチョンセミナー「現代の日本における ビタミンD欠乏症くる病」を共催

「第64回日本小児保健協会学術集会」にブース出展

当社は、2017年6月29日(木)から7月1日(土)まで大阪国際会議場(大阪市北区)で開催された「第64回日本小児保健協会学術集会」にブース出展し、ランチョンセミナー「現代の日本におけるビタミンD欠乏症くる病～本症の診断、治療、予防について～」を共催しました。

当社は、本学術集会を通じ、ビタミンD摂取の必要性について啓発活動を行うとともに、子どもたちが健やかでたくましく育つことができる社会づくりを目指し、今後も小児医療に貢献していきたいと考えております。

第64回 日本小児保健協会学術集会
ランチョンセミナー①

日時 2017年6月30日(金) 12:00～12:50
会場 大阪国際会議場 第1会場(10階会議室1001-1003)

現代の日本における
ビタミンD欠乏症くる病
～本症の診断、治療、予防について～

座長 玉井 浩 先生 大阪医科大学 小児科学教室 教授
講師 大園 恵一 先生 大阪大学大学院 医学系研究科 小児科学 教授

主催 日本小児科学会(主催) 日本小児科医学会(共催) 日本小児科看護学会(共催)

ランチョンセミナーは無料です。

会場 大阪国際会議場 10階 受付は 6月30日(金)12:00～11:00
※受付の人数がなくなり次第、受付終了となります。お席確保はセミナー開始と同時となります。

共催 / 第64回日本小児保健協会学術集会 森下仁丹株式会社

■ランチョンセミナー
チラシ